



DNW-23016 の概要

課題名 : 新規がん免疫療法剤の探索

主任研究者 (Principal Investigator) :

川口 充康 (公立大学法人名古屋市立大学医薬学総合研究院 (薬学))

ステージ: 標的検証後期

【標的疾患】

乳癌、肺癌、脳腫瘍を始めとする手術不能な転移がん、再発がん

【創薬標的】

腫瘍免疫応答を抑制するタンパク質 X

【創薬コンセプト】

タンパク質 X を阻害することにより腫瘍免疫応答を活性化する。

【ターゲットプロダクトプロファイル】

抗 PD-1 抗体や種々の抗がん剤と併用可能ながん免疫療法剤

【モダリティの設定】

低分子化合物

【創薬コンセプトの妥当性を支持するエビデンス】

以下のことが PI らにより明らかにされている。

- 1) PI らは、タンパク質 X を阻害する化合物のスクリーニング系を独自に構築し、複数のヒット化合物を取得した。
- 2) ヒット化合物の合成展開によって、タンパク質 X 阻害作用の大幅な活性向上に成功した。

【科学的、技術的な優位性】

PI らが見出したタンパク質 X 阻害剤は、既知の阻害剤とはケモタイプが異なり、新規性の高い化合物である。

【支援ステージにおける目標】

PI らが見出したタンパク質 X 阻害剤の選択性や阻害特性をさらに改良した化合物を合

成し、その抗腫瘍作用を検証する。

【関連特許】

なし

本資料は、創薬総合支援事業（創薬ブースター）による支援の終了時の情報をもとに作成しています。